

井出敬二・元駐クロアチア大使による講演会の実施

2026年3月31日、タジキスタン外務省及びタジキスタン国立大学（JICA チェア事務局所在）にて、「国際秩序と日本外交」についての講演会が行われました。講師は、ロシアでの計9年間、中国での3年間を含む日本国外交官としての経験を約40年間有する井出敬二・日本国際フォーラム上席研究員（立教大学兼任講師、元駐クロアチア大使）が務めました。

講義では、奈良・正倉院に残るソグド（現在のタジキスタン北部）文化から垣間見える日本と中央アジアの歴史的つながり、中国の影響、モンゴル襲来、日露戦争といった東アジアの歴史の説明から始まり、国際秩序の基礎となる哲学思想の紹介も織り交ぜながら、力は倫理と法が伴うことによって有効たり得るとの視点が示された後、第二次大戦後の日本外交について詳説されました。

午前の外務省での講義では若手を中心とする外交官約40名が聴講し、現下の国際情勢に対する見方、日米・日ロ関係、経済的利益を巡る闘い、エネルギー需要への対処といった問題について質問が出されました。





午後のタジキスタン国立大学での講義は主に国際関係学部の教師及び学生等約 70 名が聴講し、最近の厳しい国際情勢の中で日本がアメリカに対して取る立場、核を有する国に囲まれた日本が掲げる防衛方針、タジキスタンを含む中央アジア諸国と日本の外交関係や協力案件、国際情勢の中で国際法が果たす役割等に関する質問がなされ、活発な意見交換の場となりました。

